



お知らせ

Press Information

2013年4月11日

メルセデス・ベンツ日本 「日立さくらロードレース」に協賛

・ 先導車としてスマート電気自動車を提供、参加記念 T シャツのロゴ協賛も

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下: MBJ、社長: 上野 金太郎、本社: 東京都港区)は、2013年4月14日(日)に茨城県日立市で開催される「第13回日立さくらロードレース」(主催: 日立さくらロードレース 実行委員会等)に協賛し、先導車等のオフィシャルカーの提供や参加記念 T シャツのロゴマークへの協賛をいたします。

日立さくらロードレースは、『日本さくらの名所100選』のひとつである日立のさくらのもとを走るロードレースで、2001年の第1回大会以降その風光明媚なコースで人気を博しています。本年は競技者から市民ランナーまで、約1万7千名が参加する予定です。日立市に新車整備センターを構えるMBJは、2011年より継続してこの大会を支援しています。

当日は昨年欧州メーカーとして初めて日本で発売した「スマート電気自動車」2台が先導車をつとめるほか、7人乗り多目的車「Vクラス」が救護車として、MBJ社員がドライバーのボランティアスタッフとして大会運営に協力いたします。

MBJは企業市民として、マラソンを楽しむ皆様とともに、敬意と感謝をもって、地域振興・発展に貢献したいと考えています。

【日立さくらロードレース 公式ホームページ】

<http://www.hasa.or.jp/sakura/>

* 参加の申込受付は終了しました

<スマート電気自動車>



<参加記念Tシャツ背面ロゴ>



【MBJについて】

MBJは、ドイツの自動車メーカーダイムラーAGの乗用車を扱う100%子会社の日本法人です。メルセデス・ベンツが自動車を発明してから100年目となる1986年に設立し、全国に広がる205拠点の正規販売店を通して日本のお客様にメルセデス・ベンツ、スマート製品とサービスをお届けしています。茨城県日立市には1992年1月に新車整備センターをオープン。欧州または北米から船で運ばれてきた新車を、販売店に配車する以前に整備する日本で唯一の施設となっています。

【スマートについて】

スマートは「最小限のボディサイズで最大限の安全性、快適性、環境適合性」をコンセプトに、メルセデス・ベンツのクルマ作りのノウハウを活かして開発されたマイクロコンパクトカーの草分けで、オリジナリティとデザイン、環境適合性が高く評価されてきました。

2010年10月からは日本国内でスマート電気自動車の実用テストを開始。2011年5月からは千葉県柏の葉地域で国内初となるマルチ交通シェアリングシステムに参加、8月には日立市に公用車として電気自動車1台を納車するなど活躍の場所を広げています。2012年に欧州メーカーとして初めて市販を開始しました。最高速度125km/h、フル充電で航続距離181kmのゆとりある性能を実現しています。